

SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール
岩手県立水沢高等学校
第2号 2016年 6月30日 発行

SSH 特別講義①

平成28年6月14日（火）

6大学1研究機関の大学教官など、講師7名よるSSH特別講義を開催しました。2年生241名は、それぞれ自分の興味関心や進路志望に合わせて、様々な分野の講義を受け、特別講義を通して科学的な関心や進路に対する意識を高めました。

「心理学って占いみたいなもの？」

はじめての心理学」

福野光輝 先生 東北学院大学教授

心理学の歴史から、現在の心理学分野についての概要を説明した。また、心理学と血液型診断との違いや心理学が社会においてどのように活用されているかなどについて講義した。



「経営とは何か？」

藤井一弘 先生 青森公立大学教授

経営学をビジネスの場面だけで使うものと捉えるのではなく、人と人のつながりを円滑にするもので、生活するあらゆる場面で応用が可能な学問であるという内容を学んだ。



「地域と文学 —短歌の場合—」

松本真奈美 先生 尚絅学院大学教授

岩手県にゆかりのある歌人、石川啄木・宮沢賢治、大西民子、佐藤通雅をとりあげ、経歴や代表作についての解説を生徒の感想を取り上げながら行った。



「建設分野の未来プロジェクト」

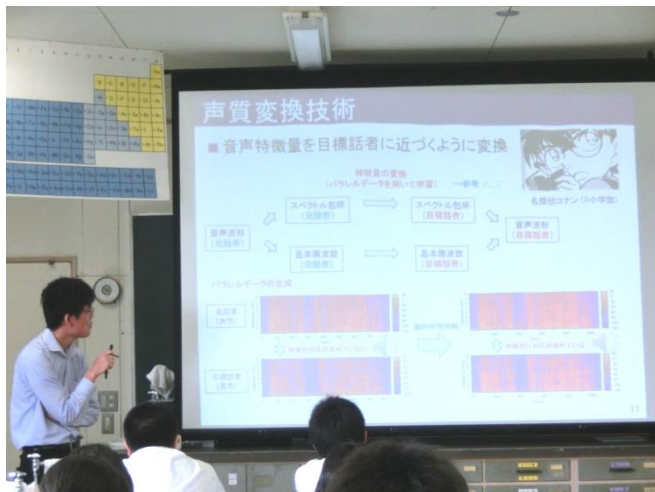
中沢正利 先生 東北学院大学教授

「社会基盤構造物」の現在と未来について、橋梁、海底トンネル、ダムなどを例に講義した。また、宇宙ステーション軌道エレベータ構想の可能性についても講義した。



「好きなあの人の声を作るボイスクローン技術」 能勢隆 先生 東北大学講師

声質変換とテキスト音声合成について、実際に男性の声から女性の声に変換したり、速さを変えることによって聞こえる声が変わることを説明した。



「生活に欠かせないカビやきのこ達」

坂本裕一先生 岩手生物工学研究センター主任研究員

きのこやかびにふれ、身近な食品について学んだ。日本の伝統的な食品には発酵食品が多く、菌とのつきあいは歴史的に非常に長く、これを技術応用する可能性を学んだ。



<生徒の感想>

- 心理学は「心」を研究するものだと思っていたが、対象は目に見える「行動」だと初めて知った。血液型占いが当たっている感じがするのは自分版の通説を当てはめているというのは興味深かった。心理学に興味を持つことができ、とても面白い講演であった。
- 社会の一面に流されず、変わらないもの、変わってしまったものを五-七-五-七-七という短い中に美しく綴られた短歌の魅力を知ることができた。そのような素晴らしい短歌を世に生み出してきた人物がこの岩手にいることは大変誇らしい。さらに深く短歌の世界を知りたいと思った。

医療福祉分野を目指す人たちへ

～チーム医療の観点から～

西堀真弘 先生 国際医療福祉大学教授

医療・福祉分野の仕事と各職種の分担や適正、働く場所のいろいろな事情、目指すために必要な心構えや学び等を説明した。



- 「経営」ということを原点に戻って考えたとき、お金や利害関係などが全てだと思っていたが、実際には部活動と同じように、共通目的や協働意志、コミュニケーションが必須だと初めて知った。今回の講演を通して、経営学や経済学に関する自分のイメージが変わった。
- 今回の講演で社会基盤構造物に興味を持つことができた。特に海中トンネルは一見実現不可能と思われたが、浮力の力を活かす、耐震性の強さ、外の温度変化に強いなど数々のメリットがあることを知った。私たちはこれから未来を担っていくことになるが、後世に残せるような建造物を造りたい。
- 現在では様々な場面で合成された音声を聞くが、その仕組みを初めて知った。声質を変えて違う人の声を作成することは本当にできると知って驚いた。研究が進んで更に品質の高い音声ができるようになればもっと便利な世の中になると思った。
- きのことカビは別なものだと思っていたが、共通点が多く、大きな相違は大きさだけというのに驚いた。菌の構造について全く知らなかったので、勉強してみたい。また、発酵食品じゃないと思っていたものが実は発酵食品だった。パンやマヨネーズなど発酵食品を食べない日はないと思うので、もっと意識して食事したい。
- 医療関係の仕事は、医師や看護師が思いつくが、その他にもたくさんの方が様々な分野で支えて医療が成り立っているということが分かった。名前だけ知っていた職業についても詳しく話を聞くことができ、参考になった。将来の進路は決まっていないが、放射線技師など興味が湧いたので、もっと調べていきたい。